

# 工事写真報告書

工事番号 平成 30 年度

工事名

工事箇所 屋根・外壁・その他 塗装工事

工事住所 遠賀郡 岡垣町 東高倉

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

同上

---

---

---

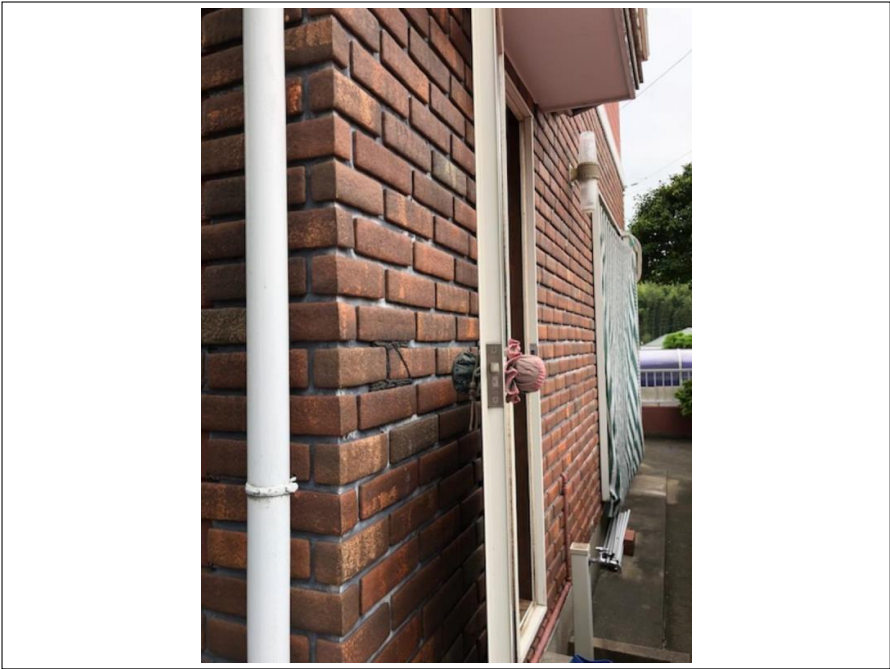
---

---

---

---

---



外観

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

同上

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

同上

---

---

---

---

---

---

---

---

---

---



外観

同上



屋根

同上



屋根

この素材はセメント:アスベスト(又は<sup>ル</sup>繊維)が85:15で作られています。

表面の塗装が新築当時はアクリル塗装を焼き付けており、7年ぐらい経過すると表面の防水効果が低下し、だんだん反りや割れが生じてきます



屋根

劣化し割れや反りがひどくなり葺き替えとなると、アスベストが入っているので処分費がかなりかかりますので、早めの塗装と維持をお勧めします。



屋根

同上



屋根

同上



軒天

経年劣化しています。

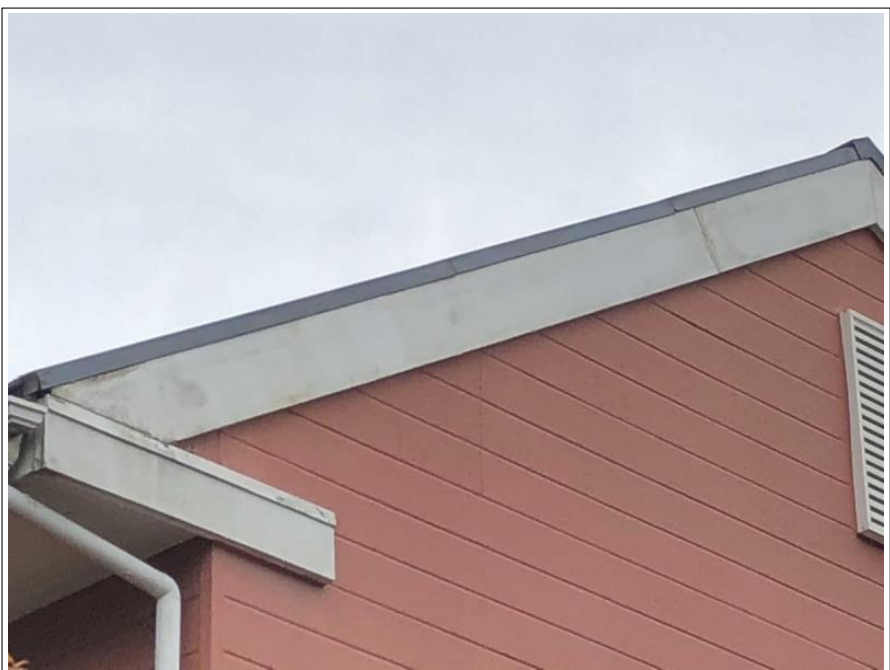
この部分は通気性のいい軒天専用の  
塗装をしていきます。



破風板

経年劣化しています。

劣化すると腐食、お住まいの痛みに  
つながりますので、下塗り・上塗り  
をおこないます。



破風板

同上



破風板

同上



鼻隠し

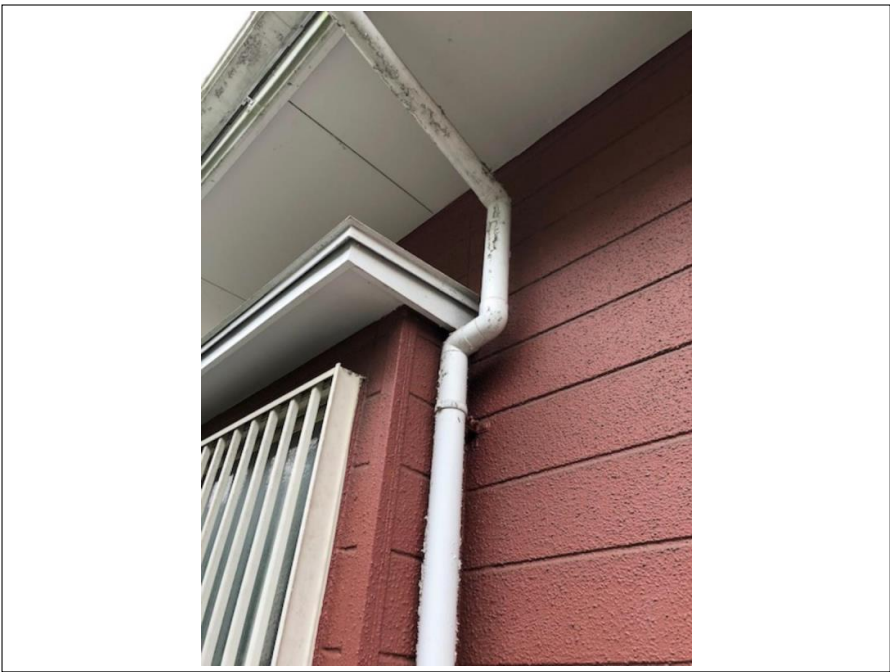
同上



帯

同上

※帯の上は水が浸入しないように、シーリング三角打ちをおこない、塗装をしていきます。



樋

この部分は塩ビ素材になります。  
劣化すると割れが生じたりすることがありますので、塩ビ専用の下塗りをおこない塗装をしていきます。



樋

同上



樋

同上

※旧塗膜の剥離が見られます。このまま塗装しても旧塗膜から剥がれる恐れがありますので、密着の悪い旧塗膜はケレンで除去してから塗装をおこなう必要があります。



雨戸

こちらは鉄・スチール素材になります。

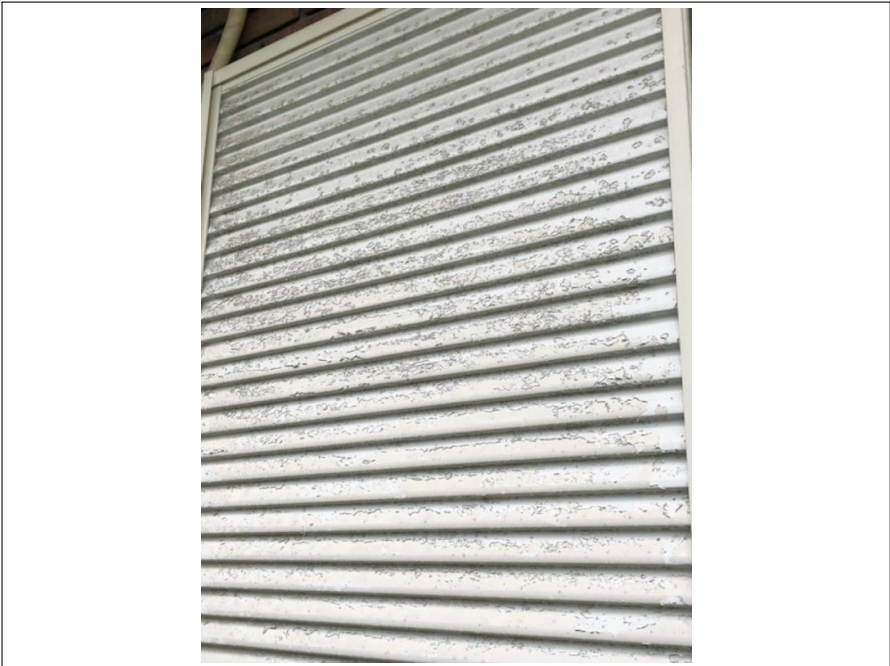
劣化するとサビが発生してきますので、サビが発生する前の塗装をお勧め致します。



雨戸

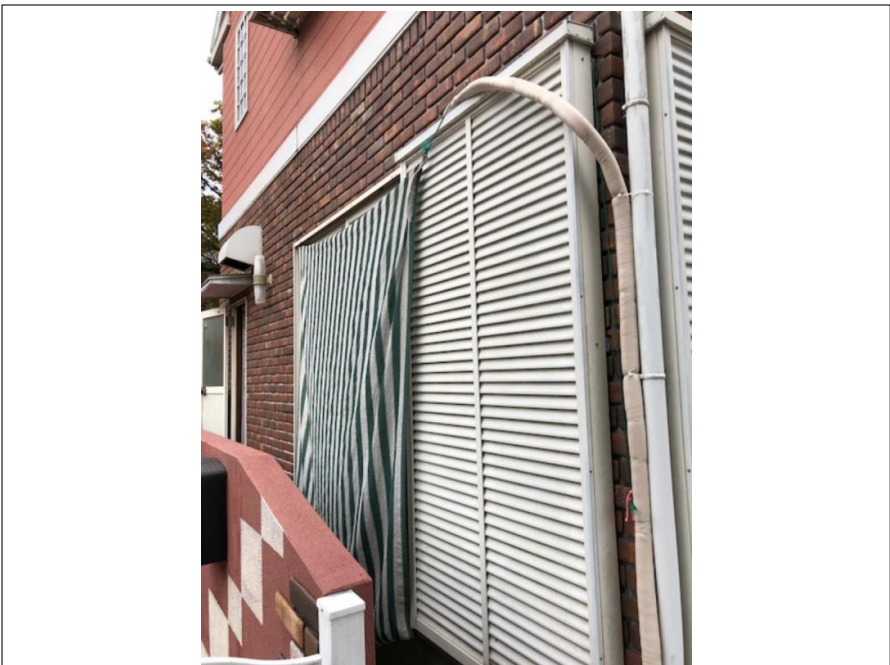
対処方法

サビが発生しているうえに塗装をしてもすぐにサビが表面化してきますので、ケレン作業・サビ止め等の下地処理を行い塗装をしていく必要があります。



雨戸

同上



雨戸

同上

---

---

---

---

---

---

---

---



小庇

同上

---

---

---

---

---

---

---

---



換気フード

同上

---

---

---

---

---

---

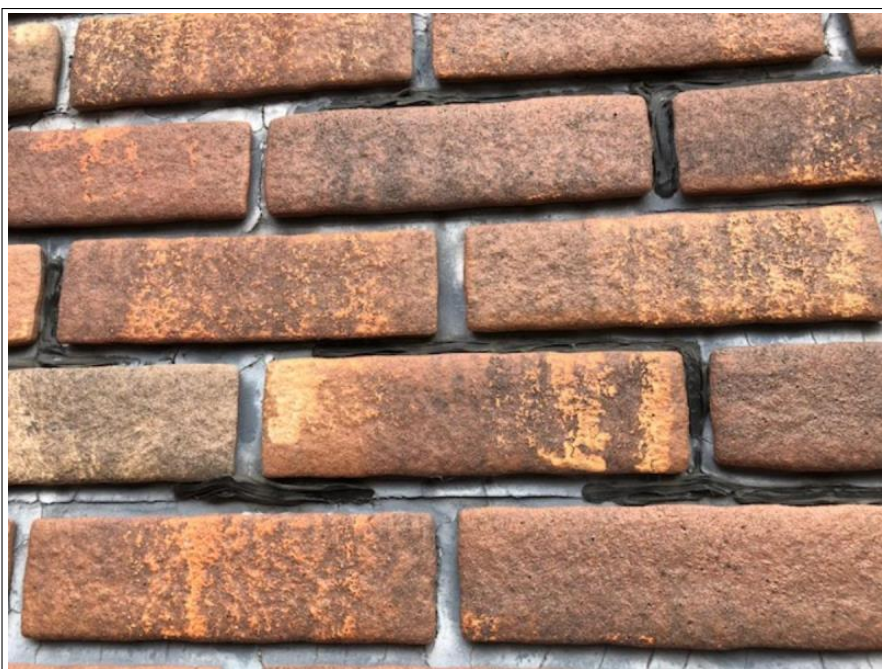
---

---



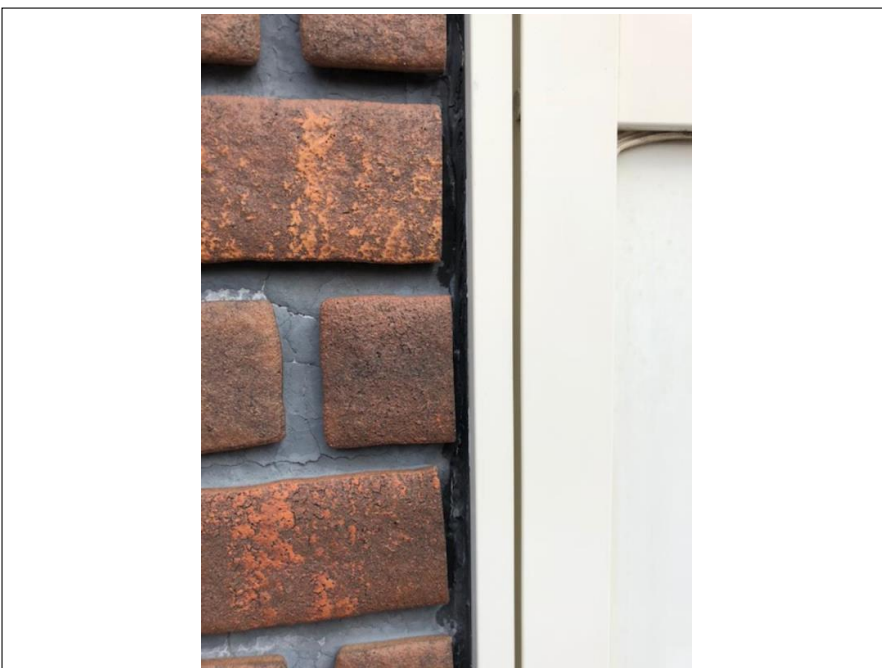
水切り

同上



外壁 レンガ部

レンガは塗装する必要はありませんが、目地のセメント部が劣化すると表面か水や湿気の影響で、目地部のひび割れや浮き・タイルの剥がれ等が起きてきますので、レンガ部もメンテナンスが必要になります。



外壁 レンガ部

レンガ部のセメント目地部を水や湿気から守る為、吸水防止剤を塗布していきます。



外壁 レンガ部

---

---

---

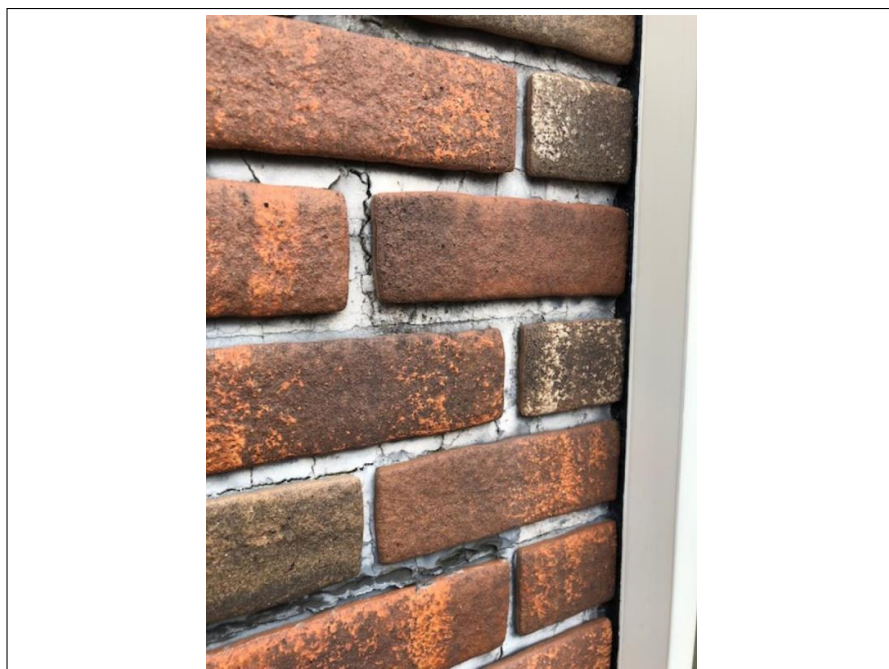
---

---

---

---

---



外壁 レンガ部

---

---

---

---

---

---

---

---



外壁 レンガ部

---

---

---

---

---

---

---

---



## 基礎

---

アルカリ性のコンクリートは空気中の二酸化炭素や酸性雨と結合することによって徐々に中性化されます。

中性化されたコンクリートは表面にヒビが入るだけでなく、内部の鉄筋の腐食や膨張につながり構造物の性能低下につながりますので、シーリング等で補修をおこないます。

---



## 外壁 現状

---

前回の塗膜の剥離が見られます。  
このまま塗装をしても不具合を引き起こす可能性がありますので、ケレンや下地処理をおこない塗装をする必要があります。

---

---

---



## 外壁 クラック部

---

劣化している部分があります。  
この部分から雨水や湿気、炭酸ガス等が直接浸入し躯体・ボードの痛みや建物の寿命に繋がりますので、下塗りやシーリング材等で補修をおこない、塗装をしていきます。

---

---

---



外壁 カビ発生部

カビの発生が見られます。  
カビの上にくら良い塗装をして  
も、カビの根が残っている以上塗膜  
を突き破って表面化してきますの  
で、カビの根を抑える必要がありま  
す。

外壁 カビ発生部

対処方法  
いくら高圧洗浄をかけても、カビの  
根が残ってしまいますので、カビの  
根を殺す防カビ下塗りをおこない、  
下塗り・上塗り二回の三層四工程を  
おこないます。

作成者：戸高勇樹

劣化診断士

認定番号：13100230

